

2023年8月海洋観測結果について

7月24日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

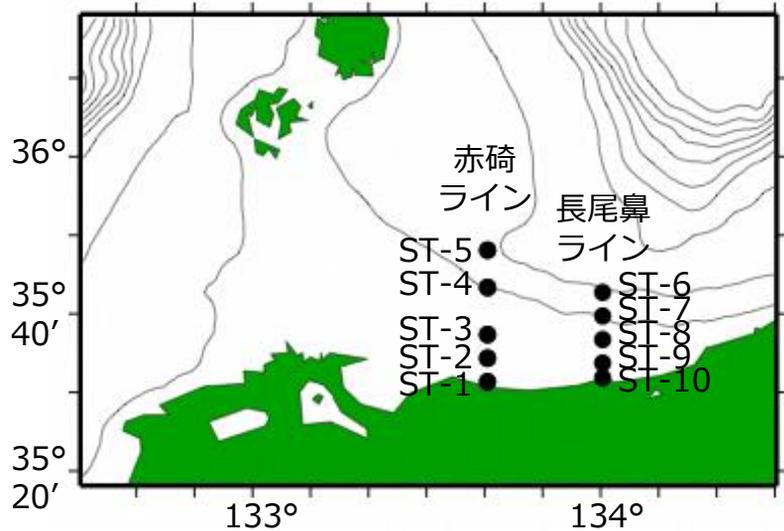


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は26℃以上に昇温していました。

水深40～60mに水温躍層が発達し、水温20℃以下になっていました。水深150m付近にも水温躍層が存在し、水温は12℃以下に低下していました。

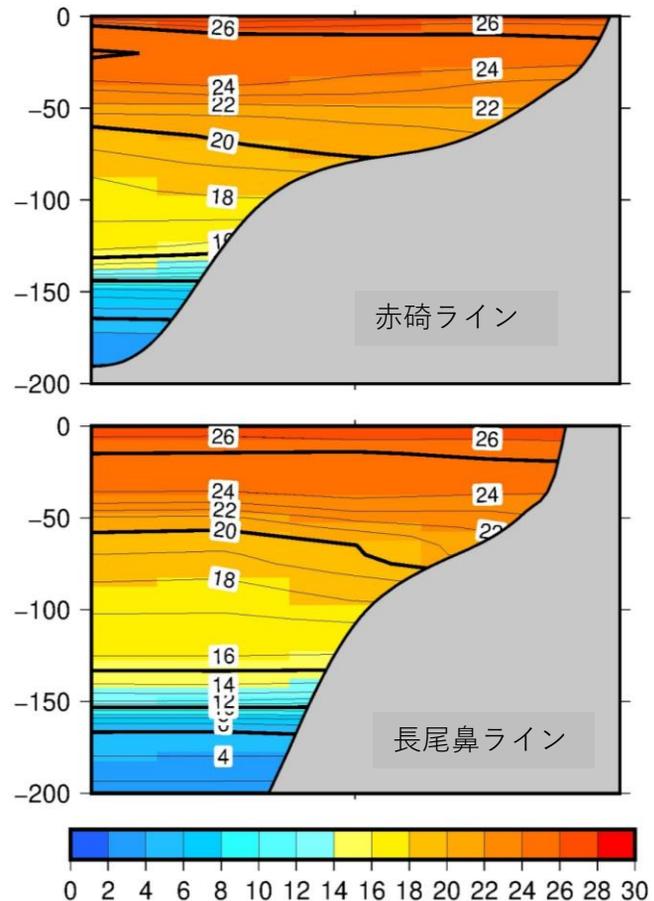


図2 鉛直分布図 (海水温の単位：℃)

【水深帯別の比較】

2023年8月観測時点では、赤碕ラインは水深0mから90mまでは平年より水温が0.7～1.4℃高くなっていました。

長尾鼻ラインでは、水深0mから90mまでは平年より水温が0.3～1.5℃高くなっていました。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')				
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2023年		27.5	24.2	21.8	18.3	26.9	24.4	22.1	18.0
前年		26.2	25.3	23.6	19.9	26.3	25.1	22.7	19.1
2010-22年平均		26.6	23.0	21.1	17.4	26.6	22.9	20.7	17.7
平年差		1.0	1.2	0.7	0.9	0.3	1.5	1.3	0.3